

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ネクスト
住 所	兵庫県多可郡多可町八千代区下村69-1
電話番号	0795-37-2701

事業所番号	2812700124
管理者名	橋本 和典
対象年度	令和5年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

活動場所 中工場・リフレッシュ工場・寺内・和田

実施日程 通年

実施した生産活動・施設外就労の概要

今年度も、地域の民間企業と連携し企画した低反発ウレタンのリユース製品の製造や、ロングフロアクッション等の製造を請け負いました。また、7市2郡の自治体と契約し、クリーンセンターから引き取った不要ふとんでのリサイクル事業も順調に実施しています。自治体の備蓄用防災毛布で一定年数を経たものを回収し、クリーニングしてまた圧縮パックに入れ再び備蓄用にするリユース事業も継続しています。

利用者数 22名

令和5年度年間延べ施設外就労日数：3,839日

<活動の様子>

活動の様子の写真

成果物の写真

活動内容の追加コメント



<目的>

地域連携活動のねらい

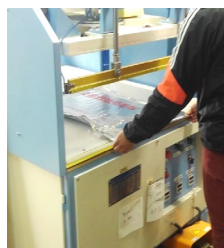
地域の企業と連携し、地域の活性化に微力ながら貢献したいと考えています。リユース製品の製造事業や布団リサイクル事業等は、障がい者就労、環境保全という「福祉」「環境」2つの社会的課題に寄与できる活動です。

地域にとってのメリット

地域の利用者さんを雇用し、障がい者の継続した就労と一般就労への移行を支援します。不要ふとんの引取りについては、ホームページを見たり口コミにより近隣住民や少し遠方の方も「助かります。」「無料は嬉しいです。」「捨てるのはもったいないので再利用していただけるなら嬉しいです。」と持ち込んでくださいます。

対象者にとってのメリット

地域の民間企業と連携することで、利用者さんに提供できる仕事の量も質も充実します。それにより、利用者さんの特性やニーズに合わせた作業や勤務地を提供しやすくなります。そして、民間企業での就労は、就労能力の向上や一般就労への移行に資することは間違いありません。また、施設外就労によって勤務地が増えることにより、自力で通所できるようになった利用者さんが多くいらっしゃいます。



<成果>

実施した結果

現在34名の利用者さんが勤務されています。ネクストだけではこれだけの利用者さんの仕事やそれに対する賃金を確保できないと思います。A型は経営が成り立っていないとその存在価値はありません。当然、運営は大変厳しいものがあります。寝具製造業の世界でも競争は激しく、求められる商品の移り変わりも激しいものがあります。そのような中、フロンティア(株)と連携しての商品の企画製造がネクストを支えています。

得られた成果

施設外就労があることで、今年度も利用者さんに滞りのないサービスを提供することができました。民間企業で就労する経験は、当然厳しさもある半面、新しい作業に順応する力や上手くいかないときにぐっとこらえて取り組む忍耐力が身につきます。自ら気付き考え作業できる力が身につくチャンスも多くの場面であります。また、利用者さん同士や職員だけではなく企業の社員と話をすることでコミュニケーション能力も付いてきます。仕事というものに対する意識自体も変えています。これらはすべて、一般就労への移行に資することだと確信しています。実例として、挨拶がきちんとできるようになった、欠勤が減った、連絡や報告がちゃんとできるようになった、ミスを次に生かすことができた、相手を思いやることが出るようになった、自ら職場を明るくしようとしたり、など様々、多くの方に大きな成長が見られます。

課題点

施設外就労を実施する大きな目的の一つとして、これをステップに一般就労へ移行していただくことです。これはA型事業所の一つの使命でもあると考えていますが、一般就労への移行には大きな壁があり、正直なところネクストも苦戦しています。受け入れ企業等の労働条件、企業数の不足、利用者さんの踏み出す勇気、など課題は多くあります。

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価

今後の連携強化に向けた課題

毎日ネクストの利用者さんと接しています。2か所で施設外就労をしていただいています。近くで見ていると1年1年成長されていることがよく分かります。最初は欠勤が多く、すぐに辞められるのではないかと懸念していた方が、今では職員に登用され力を発揮されていますし、やらされているといった意識だった方が、自ら気づいて動けるようになっていたり、明るく前向きになっていたり…。毎日仕事をし、一定の賃金を得て、安定した生活を送る。安定した生活を送れる喜びがまた、明日の仕事へのモチベーションになる。この循環の大切さを痛感します。また、フロンティアという民間企業で働くことが、一般就労への道筋の一つになるのなら、これからも精いっぱい協力したいと考えています。

令和5年度も引き続き不要ふとんのリサイクル事業と、連携し企画した低反発ウレタンのリユース事業での製造部門を一手に担っていただきました。行政の防災毛布のリユース事業も継続しています。

不要ふとんのリサイクル事業はネクストが活動を開始した時から連携して実施しているので、12年目となりました。自治体と契約をし回収した不要ふとんでのリサイクル事業は、当初の12年前に比べると、世の中の反応に大きな変化があります。「え？」「は？」⇒「へー！」「ほうー！」といった感じです。ネクストさんと一緒に当初から理念としていた「人と地球にやさしいモノづくり」のワードはいまや「SDGs」として多くの人、会社、行政にご賛同いただけるようになりました。

低反発ウレタンのリユース事業は、本来廃棄されてしまうウレタンの部分を買取り、加工することにより製品化する事業ですが、H30年に事業を開始してから6年目となり、順調に推移しています。

ただ、これら、どの事業も、これから先の未来のことは分かりません。どの業界も同じですが、寝具製造業も世の中の流れとともに移り変わる厳しい業界です。「変われるものが生き残る」のです。これから先も新たな可能性を見出し、新しい製品を生み出していかなければなりません。そこには、企画・製造で力を合わせてくれるネクストという存在が、これから先もなくはなりません。

連携先企業名

フロンティア株式会社

担当者名

内橋 毅